

標記爭議。實、日本海員組合代表は本月五日出發小樽向
と同日午後神七、浜田國八郎、本問題に付、左、如、語、し、

左記

該爭議に對し、我海員組合、当初より組合態度を鮮明にし、
組合員ノ輕率妄動ヲ戒、小樽出張所主任橋本九平ヲ極
力紛糾、防止ニ努メシメタルモ徒勞ニ終リ、一時、非常ニ悪化收
拾スヘカラスル状態ニ陥リ、本月二、ヨリ、遂ニ一、隻ノ船舶ヲ停船セシ
メ百五十余名ノ船員ハ上陸シ小樽出張所其他ニ集合シ対策
ヲ協議スル等愈々紛糾ヲ未ス畏アリ、傍觀スルニ心ヒス解決
促進シ、極秘裡ニ本月五、出發東行シ、ル、五、日、同地ニ到
着前(本月七、夜)小樽水上署長、詢價ノニテ無條件ノ解決ス
ルニ至レリ

レテ本爭議ハ海員組合本部、勸告ヲ無視シ且待遇改善ニ

一、嘆願書ヲ提出其、回答ヲ待メスレテ直ニ罷業ヲ移クルニ
ノ所為ニ望ムルモ背後ニ過激分子ノ在煽動シタルモト思惟サレシ
ヲ以テ調査シタルニ深キ画策ノ下ニ各地ノ同志ト連絡ヲトリ過激分
子ト結託シテ断行サレタルモ、如、本月初、ヨリ、七八回ニ涉リ神戸
郵便局ヨリ、匿名ニテ過激ヲ煽動的電報ヲ發信シタルモノアリ尚ホ
今回、出發ニ際シテモ同、神戸郵便局ヨリ

「浜田、合田、シツメ、海員本家ノ走狗、氣ヲ付ケロ」

ノ電報ヲ發セシ事會員アリ

加之彼等同志中ニ陰語(一例「クランシ」警察官ニ惡)ニ用
ヒ「イエス」「ノー」ノ合言葉ヲ作リ、決死隊ノ組織シテ數十隻
ノ船舶ヲ爆沈(方法「バルブ」ヲ開放)セントスルカ、如、大陰謀アリ
ソルヤ、噂モアリテ思、思、的、背景、潜在セルハ明ナリ
兎、角、モ、重大問題、付、前、後、策、ヲ、熟、慮、研究、中、ナリ、云々